

# ご挨拶

一般社団法人 日本産業カウンセラー協会  
東京支部 支部長 向田正裕



一般社団法人日本産業カウンセラー協会は1960年に設立され、北は北海道から南は沖縄まで13支部あり、3万2千人を超える会員組織となっています。

その中で東京支部は、代々木、立川、甲府の3か所に事務所を構え、会員数約6,500人の全国最大の支部です。

産業カウンセラーは、「心の問題にかかわる専門家」として「メンタルヘルス対策」「キャリア開発」「職場における人間関係開発」の3つの領域で、働く人たちの援助を行っています。

近年、働く人のストレスは、社内の人間関係、長時間労働、育児・介護などをめぐる様々な問題により増加しています。

国はメンタルヘルス予防のセルフ対策としてストレスチェック制度の導入や働く一人ひとりのキャリア形成、キャリア開発の支援としてキャリアコンサルタント国家資格者10万人体制、長時間労働是正へ向けた対策等ワークライフバランスを定着させる働き方改革に着手しています。

この動きは、先ほど述べた3つの活動領域に重なっており、産業カウンセラーが産業界や働く人たちの中で果たす役割が今後ますます増えていくことになります。

そのことを踏まえ、東京支部では、2017年度から「社会の変化に対応する産業カウンセラーを目指して」を中期ビジョンに掲げ、産業カウンセラーの強みを活かしながら、産業界や働く人たちに必要とされる活動に積極的に取り組んでまいります。

今後とも会員をはじめ広く皆さまのご理解とお力添えをよろしくお願いいたします。